

作成日 2026 年 7 月 9 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ネキリスター
供給者の会社名称, 住所及び電話番号
会社名称 : サンケイ化学株式会社
住所 : 〒110-0005 東京都台東区上野 7 丁目 6-11 (第一下谷ビル)
担当部門 : 開発部
電話番号 : 03-3845-7951
FAX 番号 : 03-3845-7950
緊急連絡先 : 同上
整理番号 : B-215
推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 : 農薬
使用上の制限 : 推奨用途以外での使用は不可

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分 2B
生殖細胞変異原性 : 区分 2
発がん性 : 区分 1A
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分 1(呼吸器、免疫系、腎臓)
環境に対する有害性 水生環境有害性 短期(急性) : 区分 2
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分 2

上記に記載がないものは、「区分に該当しない」か「分類できない」である。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : H320 眼刺激
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H350 発がんのおそれ
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、免疫系、腎臓の障害
H401 水生生物に毒性
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性
注意書き : 【安全対策】
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

作成日 2026 年 7 月 9 日

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面等を着用すること。

:【応急措置】

P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察／手当てを受けること。

P314 気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。

P337+P313 眼の刺激が続く場合:医師の診察／手当てを受けること。

P391 漏出物を回収すること。

:【保管】

P405 施錠して保管すること。

:【廃棄】

P501 内容物や容器は、当該規則に従い都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して、適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量
クロチアニジン	0.25%
植物粉、鉱物質微粉等	—

化学名又は一般名	含有量	CAS No.	化管法 管理番号	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
クロチアニジン	0.25%	210880-92-5	1 種 616	5-6732	8-(7)-1316
石英(結晶)	33.9～40.3%	14808-60-7	—	1-548	—

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
異常が続く場合は、医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 : 大量の水で洗浄する。
刺激等の異常が認められる場合には、医師の手当てを受けること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。
医師に連絡すること。
患者に意識がない場合、無理に吐かせないで直ちに医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末消火剤、乾燥砂、霧状水

使ってはならない消火剤 : 棒状注水

火災時の特有の危険有害性 : 情報なし

作成日 2026 年 7 月 9 日

特有の消火方法 : 速やかに火元への燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。
容器及び周辺に散水して冷却する。
消火作業は風上から行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
: 消火活動の際には、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

: 粉じんの発生をさける。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
漏出時の処理を行う際には保護具を着用する。

環境に対する注意事項 : 漏出物を直接環境中に放出しないこと。
河川や下水道、養殖池等に流れ込まないように、十分に注意すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
: 防爆型の電気掃除機または湿ったブラシにより集め、密封できる容器に回収する。
粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項 : 取扱いは換気の良い場所で行い、作業場の換気は十分行う。
取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
屋外での取扱いはなるべく風上から作業する。
取扱いの都度、容器を密閉する。
眼、皮膚、衣類に付けないこと。
眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意すること。
適切な保護具を着用すること。
高温、火気の近くで取扱ってはならない。

局所排気・全体排気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」を参照

接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照

衛生対策 : 食物、飲料等と区別し、火気、直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。
小児の手の届く所へ置かない。

保管 安全な保管条件 : 食物、飲料等と区別し、火気、直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。
小児の手の届く所へ置かない。

安全な容器包装材料 : 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

鉱物性粉じん

: $E = 3.0 / (1.19Q + 1)$
E: 管理濃度 (mg/m³)
Q: 当該粉じん遊離けい酸含有率 (%)

許容濃度

作成日 2026 年 7 月 9 日

日本産業衛生学会

クロチアニジン : 0.4 mg/m³
結晶質シリカ : 吸入性粉じん
0.03 mg/m³

ACGIH

クロチアニジン : TWA 0.1 mg/m³
石英 : TWA 0.025 mg/m³

設備対策

屋内で取扱う場合には、全体換気装置を設置する。
: できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
取扱場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具 : 農薬用マスク
手の保護具 : 保護手袋
眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 : 長ズボン・長袖の作業衣等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 細粒
色 : 黄赤色
臭い : 特有臭
沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 情報なし
可燃性 : 情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし
引火点 : 情報なし
自然発火点 : 情報なし
分解温度 : 情報なし
pH : 5.0～8.0(20%水懸濁液)
動粘性率 : 情報なし
溶解度 : 情報なし
n-オクタノール／水分配係数(log 値) : 情報なし
蒸気圧 : 情報なし
密度及び／又は相対密度 : 見掛け比重 0.60～0.90g/cm³
相対ガス密度 : 情報なし
粒子特性 : 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 情報なし
化学的安定性 : 通常の手扱い条件下では安定。
危険有害反応可能性 : 含有している石英は、水酸化アルカリ、フッ化水素、フッ酸等と危険な反応を生じる可能性がある。
避けるべき条件 : 情報なし
混触危険物質 : 情報なし
危険有害な分解生成物 : 情報なし

作成日 2026 年 7 月 9 日

11. 有害性情報

急性毒性

経口 : ラット 雌 >2,000mg/kg
 経皮 : ラット 雄雌 >2,000mg/kg
 吸入 : データが不足しているため分類できない。

皮膚腐食性／刺激性 : 区分に該当しない
 ウサギ 陰性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

: 区分 2B
 ウサギ 軽微な刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性 : データが不足しているため分類できない。
 皮膚感作性 : 区分に該当しない
 モルモット 陰性

生殖細胞変異原性

: 成分の情報より、区分 2 とした。
 (成分)

発がん性

結晶質シリカ: 区分 2
 : 成分の情報より、区分 1A とした。
 (成分)
 結晶質シリカ: 区分 1A

生殖毒性

: データが不足しているため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: GHS 分類基準以下であり区分に該当しない。
 (成分)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

クロチアニジン: 区分 2(中枢神経系)、区分 3(麻酔作用)
 : 成分の情報より、区分 1(呼吸器、免疫系、腎臓)とした。
 (成分)
 クロチアニジン: 区分 2(血液系)
 結晶質シリカ: 区分 1(呼吸器、免疫系、腎臓)

誤えん有害性

: データが不足しているため分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性) : 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性) : 区分 2

生態毒性

: (成分)
 クロチアニジン原体:
 魚類 LC50(ニジマス) >100 mg/l 96h
 水生無脊椎動物 LC50(アミ) 0.053 mg/l 96h
 藻類 ErC50(海産珪藻) 33.2 mg/l 72h
 : 魚類 NOEC(ファットヘッドミノー) 20 mg/l 33d
 : 水生無脊椎動物 NOEC(アミ) 0.0097 mg/l 39d
 NOEC(オオミジンコ) 0.12 mg/l 21d

残留性・分解性

: 情報なし

生態蓄積性

: 情報なし

作成日 2026 年 7 月 9 日

土壌中の移動性 : 情報なし
オゾン層への有害性 : 情報なし
その他 : ミツバチに影響あり

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物 : 関連法規並びに地方自治体の規則に従い、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に廃棄すること。
汚染容器及び包装 : 関連法規並びに地方自治体の規則に従って適切に処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制 国連番号 : UN3077
品名 : 環境有害物質(固体)
分類 : クラス 9
容器等級 : III
国内規制 陸上輸送 : 道路法等の規定に従う。
海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。
航空輸送 : 航空法の規定に従う。
特別の安全対策 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
車両、船舶には保護具(手袋、メガネ、マスク等)を常備する他、緊急時の処理に必要な消化器、工具等を備えておく。
緊急時応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない
労働安全衛生法
名称等を表示すべき危険物及び有害物 : 結晶質シリカ
名称等を表示すべき危険物及び有害物 : 結晶質シリカ
がん原性物質 : 結晶質シリカ(石英)
毒劇物取締法 : 該当しない
消防法 : 該当しない
農薬取締法 : 登録番号 第 24452 号

16. その他の情報

参考文献
・JIS Z 7252:2019 GHS に基づく化学物質等の分類方法
・JIS Z 7253:2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 — ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE-CHRIIP)
・原料 SDS

作成日 2026 年 7 月 9 日

この安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の手扱いを対象としたものであつて、特殊な手扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。